



## カッター活動

学習のねらい		
<p>○力を合わせてオールを漕ぎ、協調・協働の精神を養うことができる。</p> <p>○五感を働かせ雄大なびわ湖を全身で感じ取ることができる。</p>		
準備物		
うみのご船内で準備できるもの	乗船校で準備するもの	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・救命胴衣</li> <li>・カッター艇（カッター会場までは、業者が移動させる）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帽子（ゴムつき）</li> <li>・着替え</li> <li>・タオル</li> <li>・雨具（カッパ）</li> <li>・お茶</li> </ul>	
主な学習の流れ		ポイント（○）及び留意点（☆）
はじめ	1. 本学習のめあてを確認する。	○フローティングスクールのテーマとのつながりを意識して示す。
なか	2. 待機場所で整列し、あいさつをして安全上の注意を聞く。	☆顔色など健康状態を把握し、安全上の留意点について確かめる。（ <a href="#">カッター活動指導者実技指導要領</a> 参照） ☆体重や力のバランスを考えて指導者が座席を指定する。 ☆サポーターに副艇長を依頼した場合はあいさつを行うように指導する。
	3. 艇長の指示に従って、1人ずつカッター艇に乗り込む。	☆艇長は、カッター艇に乗り込む際に手本となる姿を見せる。
	4. カッター艇内でオールの操作方法を学び、オールで漕ぎ出し、艇を進める中でびわ湖を全身で感じる。	○オールを漕ぐ経験の時間を確保する。 ○風や水しぶき、湖水の様子なども感じ取れるようにする。
おわり	5. 艇長の指示に従って、1人ずつカッター艇から降りる。	
	6. 整列し、本学習のまとめとあいさつをする。	○フローティングスクールのテーマとのつながりを意識してまとめができるようにする。 ○学習のまとめ②や乗船後の学習につながるようにする。

（※1）活動場所・・・ 琵琶湖大橋港

（※2）実施時期・・・ 7月～10月

※うみのご船内で準備できるものについては、児童・指導者の人数や班の数に合わせて準備することもできます。